

BSIJ-CPD情報システムにおける認定プログラムと 自己申請における入力雛形

認定プログラムとは

「BSIJ-CPD情報システム」の認定プログラムとは、(公社)日本建築積算協会が認定した主催者(プロバイダー)により、申請された研修プログラムを「CPDプログラム認定審査委員会」での審査を経て認定されたプログラムを「認定プログラム」という。

尚、認定されたプログラムは、システム上の「認定プログラム一覧」にて確認できます。

認定プログラムにおける研修単位の習得:

○ 情報システムに既に参加登録をされている方

認定プログラムを受講された場合、自己申請の必要はありません。主催者(プロバイダー)から出席者名簿が提出され、事務処理が行われる。習得単位は、システムメニュー画面の「取得単位数確認」にて確認ができます。

● 情報システムに未だ参加登録申請がお済で無い方

一方、未だ参加登録申請がお済で無い方は、認定プログラムを折角受講されても、取得をされた単位は自動登録されません。但し、記録として履歴されますが、自ら参加登録申請を行うことにより、下記のメイン画面の「取得単位数確認」にて取得単位の確認が出来るシステムにしております。トラブルを避けるために事前登録をお願い致します。

自己申請

自己申請とは、認定プログラム以外の主として、別表1に示す参加学習型、情報提供型、技術協力型、自己学習型及び実務学習型で個人的に学習されたプログラムの申請を自己申請といいます。

所定の記入要領に沿って申請されたものは、委員会にて評価・審査・承認後単位の取得が出来る仕組みとしています。

※(別表1 はHP 「CPD(継続職能開発)の推進」BSIJ-CPD分類単位)参照

自己申請の形態は下記の5タイプ

- ① 参加学習型
- ② 情報提供型
- ③ 技術協力型
- ④ 自己学習型
- ⑤ 実務実績型

(実務実績の申請は、2012年3月末日までに実績があったものは有効ですが、それ以降の実務実績は廃止しました。)

以下に、形態別の自己申請記入例を説明します。

① **参加学習型** (記入例)

● **講習会**

一般講習会・講演会・シンポジウム・その他

※(認定プログラムの場合、自己申請は不要)

・プログラム名: 建築設計におけるコスト戦略

・主催: (社)○○○○○○協会 開催地: 東京

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 建築設計段階におけるコスト管理のあり方について
サブタイトル:
講師名: ○○○○

注)目的・サブタイトル・講師名等は必ず記入する。

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

建築設計途上(基本計画・基本設計・実施設計)での妥当な工事費を産出する手法として、講習内容は、設計者サイドからコストの重要性を意識し、手戻りの無い効率の良いコスト計画を実現する為の講習内容であった。

注)習得した内容は、要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

注)実際の研修時間のみ計上する。(昼休み時間は含まない)

● **見学会**

見学会・海外視察

※(認定プログラムの場合、自己申請は不要)

・プログラム名: (○○○○現場見学/○○○○病院視察

・主催: (社)○○○○協会 開催地: 東京 /○○○○団体 開催地: イギリス(ロンドン)

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 鉄骨建方について/病院建設コスト調査
サブタイトル:
講師名: ○○○○

注)目的・サブタイトル・講師名等は必ず記入する。

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

注)習得した内容は、要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

注)研修時間は別紙1 参照

● 海外調査

海外派遣調査・国際会議参加

※(認定プログラムの場合、自己申請は不要)

・プログラム名: コスト調査/○○○会議(会議の名称)

・主催: ○○○○団体 開催地: イギリス(ロンドン)

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 当該国のコスト調査/ Q/Sの立場に立って
サブタイトル:
代表者名: ○○○○

注)目的・サブタイトル・講師名等は必ず記入する。

・修得した内容:

(10文字以上
180文字以内)

注)習得した内容は、要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

● e-ラーニング講座

e-ラーニング講座

※(認定プログラムのため自己申請は不要)

② 情報提供型 (記入例)

1 講師・論文発表

(1) **講師:** 講習会、研修会等の講師・講演会・シンポジウム等の講師、パネリスト、大学、専門学校等の講師

(2) **論文等発表:** 論文、調査研究報告等の発表

※(認定プログラムの場合、講師及び発表者も自己申請は不要)

・プログラム名: 設計者・構造技術者・積算見積者のための講座(講師)
論文、調査研究報告等の発表(論文発表)

・主催: (社)○○○○○○協会 開催地: 福岡

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 概算算出手法や予算内に収めるためのコストコントロール手法の講習
サブタイトル: ○○○○
講師名: ○○○○

注)目的・サブタイトル・講師名等は必ず記入する。

・修得した内容:

(10文字以上
180文字以内)

設計時のコストマネジメントの実務について解説。計画事例を通して概算算出手法や予算内に収めるためのコストコントロール手法、さらには環境コストマネジメントのためのLCC手法、価値向上・コスト削減のツールとしての設計VE手法の活用について、事例を通して説明した。

注)講師・発表者として受講者に何を望むのか、要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

注)研修プログラムを複数で講師を担当した場合、本人の受け持ち時間を申請する。

2 社会貢献活動

・プログラム名: 専門知識・技術を生かした社会貢献

公共性のあるものに限る (例=災害支援、建設工事紛争審査会への協力、調停委員、鑑定人、
その他ボランティア活動)

・主催: NPO法人〇〇〇〇 開催地: 仙台

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 建設工事紛争審査会への協力
サブタイトル: 〇〇〇〇

・修得した内容:

(10文字以上
180文字以内)

注) 習得した内容は、要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

注) ※実質活動時間を申請する。

③ 技術協力型 (記入例)

● 執筆活動/委員会活動/論文等審査・査読

(1) 執筆活動 (専門誌原稿執筆・学術論文執筆)

・プログラム名: 地球環境と建設コスト

・主催 : 地球環境保護団体 沖縄

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 〇〇〇〇
サブタイトル: 〇〇〇〇

・修得した内容:

(10文字以上
180文字以内)

環境とコストのかかわりあいについて、特に地球温暖化対策について執筆。
購読者が理解できる内容にまとめた。

注) 執筆者として購読者に何を訴えたいのかが要点を簡潔に表現する。

・研修時間: 時間

注) A4用紙200文字程度を2時間/頁とする。

(2) 委員会活動

本部・支部役員会/本支部総会・他団体委員会

・プログラム名: 〇〇〇〇委員会/支部総会

・主催 : 株式会社〇〇〇〇〇〇〇〇協会 中国四国支部

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的: 人材育成
サブタイトル: 〇〇〇〇

・修得した内容：

(10文字以上
180文字以内)

委員会で取り上げた問題点の解決方法

・研修時間： 時間

(3) 論文等審査・査読

・プログラム名： 審査・査読対象の題目

・主催： (社)○○○○○○○協会 本部

・内容：

(10文字以上
30文字以内)

目的： 人材育成
サブタイトル： ○○○○

・修得した内容：

(10文字以上
180文字以内)

具体的な内容を記述

・研修時間： 時間

④ 自己学習型 (記入例)

● 専門雑誌購読

(1) 協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習

※(認定記事ごとに申請)

・プログラム名： 建築と積算2009年春号「ITと建築生産」

※(何年何月号・認定記事名の記入は必須)

・主催： 著者:(社)日本建築積算協会広報委員会

・内容：

(10文字以上
30文字以内)

目的： 知識の向上を図るため
サブタイトル：
書籍の内容： Tと建築生産における幅広い情報

・修得した内容：

(10文字以上
180文字以内)

運営管理の業務体制、コスト算出、AM、PM、FM等のマネジメント手法や品質/コスト削減方法の事例、さらには中長期保全計画及びPFIにおける維持運営コストについて事例をもとに解説。

・研修時間： 時間

注) 認定記事1件あたり1時間、取得単位数は1単位。

● 専門雑誌購読

(2) その他団体等の会誌・機関紙の購読

・プログラム名: ○○○○○○○の知識

・主催 : 出版社名: ○○出版

著者:

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的:
サブタイトル:
書籍の内容:

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

専門雑誌から得られた知識を羅列

・研修時間: 時間

● 専門図書による勉強

専門図書による自己研修

・プログラム名: プロジェクトマネジメントの知識

・主催 : 出版社名: ○○出版

著者:

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的:知識の向上を図るため
サブタイトル:
書籍の内容:プロジェクトにおけるコストマネジメント

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

・研修時間: 時間

● e-ラーニング講座

他団体主催のe-ラーニング講座の受講

・プログラム名: プロジェクトマネジメントの知識

・主催 : (社)日本建築士事務所協会 名古屋支部

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

目的:知識の向上を図るため
サブタイトル:特になし
書籍の内容:プロジェクトにおけるコストマネジメント

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

・研修時間: 時間

⑤ **実務実績型** (記入例)

(実務実績の申請は、2012年3月末日までに実績があったものは有効ですが、それ以降の実績は廃止しました。)

● **業務実績** 建築生産過程における積算、コスト管理に関わる業務実績

・プログラム名: ○○○○○○

注)年度末(3月)一括申請なので、特に習得した題材を取り上げて内容を記述する。

・主催 会社名: ○□△建設
部署名: 積算課
居住区: 長野県

・内容:

(10文字以上
30文字以内)

業務内容を記述する。(例えば:数量積算作業(躯体、仕上げ)・値入作業を実施等)

・修得した内容 :

(10文字以上
180文字以内)

一年間の実務実績で最も印象に残った業務等

・研修時間: 時間